

# 日加議員連盟を結成 相互理解の育成、拡大



日加両国の国會議員相互間の交流を図り、両国の政治、経済、文化、科学技術など広い分野で協調と相互理解を一層育成、拡大、そして充実させるため、三月十七日、衆参両議院の有志の間で「日加議員連盟」（会長・佐々木秀世衆議院議員）が結成された。これについて、カナダのルノオ・ラボワント上院議長およびジエームス・ジェローム下院議長は、連署で、「日加両国の関係がいよいよ深化発展している何よりの実証」である、との祝辞を寄せたほか、マッキン外務大臣も連盟結成が相互の「協力と理解を深め、共有する民主主義の理想を追求する上に、極めて重要な役割を果す」とのメッセージを送った。

なお、昨年六月、カナダ上下両院議長の招請で日本から衆議院議員団が訪問し、議員交流計画について予備的懇談を行つたのに続いて、今年四月には、衆参両院議長の招きでカナダから国會議員団が訪日する予定である。

## ベーリング海で船許可

### 日本漁船のオヒヨウ捕獲



表紙の写真 カナダは  
一月十七日、世界一強力な通信技術衛星を打上げた。太陽電池をエネルギー源とするこの静止衛星は、通常の衛星よりも高い周波を使つたため、幅広い応用が期待される。記事は六ページ。

日本は、ここ数年来減少の一途をたどつていたオヒヨウの捕獲を防ぐため、東部ベーリング海で厳しい自主制限を行つてきたが、先にバンクーバーで開かれた日米加漁業委員会第一回定期例年次総会において、今年の一月一日から五月十五日までの期間中、同海の一部で日本漁船二組四隻の操業が実験的に認められることが決まった。実験の結果を

比較するため、一組の漁船の各一隻は通常のトロール網を用い、別の一隻は実験的な中層引き網を使用する。

## ティフェンベーカー元首相に

### エリザベス女王から名誉勲位



カナダのティフェンベーカー元首相に、エリザベス女王から名誉勲位（コン



バニオン・オア・オーナー）が贈られた。これは特に国家に功労のあつた人に贈られるもので、これまでの受勲者は女王のほか、ウインストン・チャーチル、克莱メント・アトリー（元英國首相、作家のグラハム・グリーン、彫刻家のヘンリー・ムーアなど、わずか六五人。

ティフェンベーカー元首相は、現在八十一歳。カナダ連邦議会で野党議員として活躍している。

## 宇宙空間で重量分子を発見 生命存在の確認に光？



アミノ酸の中でも最も簡単なグリシンと同じ分子量（七五）をもつ分子アンジアセチレンが、カナダの天文学者によつて地球から三万光年も離れた射手座の一角で発見された。宇宙（星間）空間で発見された分子のうちでは質量が最も大きい（これまでの最大は二酸化硫黄で、分子量は六四）。

グリシンには宇宙（星間）空間に存在

する炭素、水素、窒素、酸素のすべての原子が含まれており、それと同じ質量のアンジアセチレンが発見されたことで、アミノ酸も発見されるのではないかと期待が寄せられている。アミノ酸の存在が確認されると、宇宙生物の存在も可能性が出てくる。

## 韓国、アルゼンチンと輸出成約

### カンドウ型原子炉、保障措置つき



カナダ政府は、今年一月、韓国、アルゼンチンの両国と、カナダ原子力公社が開発したカンドウ型原子炉の輸出契約を結んだ。契約には、国際原子力機関（IAEA）が定めた当事者国双方による検査制度を含むセーフガード（安全保障）措置が決められ、非平和的または爆発目的の転用、カナダ政府の同意によらない第三国への転売などを、厳しく禁じている。

## アマチュア映画作品を募集



カナダ国際アマチュア映画祭運営委員会は、今年度の作品募集要項を発表した。

募集作品は、シナリオ（フイクション）、ドキュメンタリー、自然科学、アニメーションの8ミリ、スチバ8ミリ、16ミリのフィルムで、長さは三〇分以下。サイレントも可。

応募締切りは五月一日、作品は五月十五日までに必着のこと。募集要項および応募用紙は、下の住所に請求されたし。

Canadian International Amateur Film Festival  
P.O. Box 1740, Postal Station "R", 2 Laird Drive  
Toronto, Ontario, Canada M4G 4A3

## ◆大使館案内◆

### カナダ留学

カナダの大学に留学する場合、大学や専攻分野の選択が先決。カナダ大使館の図書館では、カナダ全国の大学を紹介した「Universities and Colleges of Canada」のはか、各大学の案内書を掲げて、一般的の閲覧に供しているほか、情報文化部でも留学に関するいろいろな問合せに応じている。

大学や専攻分野が決まると、各自手紙で志望校に願書を請求する。大学側は願書と、内申書や語学能力にもとづいて入学の可否を決める。願書提出の締切りは大学によって異なるが、一、二月が普通。入学が決まると、大使館の査証部（東京都港区八丁目五の二五タウンハウス一階）でビザの申請をするが、その際、入学許可証と留学生活の資金的裏付けになる証明書が必要。大学または大学院の留学生は、アルバイトを含めて、一切就労が許されていないことを記すこと。

奨学生については、大使館の図書館に備えた「Awards for Graduate Study and Research」や各大学の案内書が参考になる。一般的に言って、外国留学生が対象になるのは修士課程以上で、学士課程の新入生が対象になることはほとんどない。

公費の奨学生には、カナダ外務省の文化交流計画によるものと、カナダ国立科学研究所が若い科学者やエンジニアを対象に支給する奨学生が上げられる。前者の応募資格は大学卒または大学院卒の日本人で、大使館（情報文化部）で書類受付と一次選考を行う。今年の募集要項は夏頃発表される。後者に対する応募（締切りは一月十五日）は、National Research Council of Canada, Ottawa, Canada K1A 0R6にあるPostdoctorate Fellowships Office か Research Associateship Officeへ。